

前戦新城で垣間見せた速さは唐津に入っても衰えず。JN1クラスは奴田原文雄／佐藤忠宜組が昨年に続いて制覇。



## 奴田原文雄エボX、ライバルの追撃を許さず、今季初優勝

### 全

日本ラリー選手権第3戦は、前戦新城ラリーから約1ヵ月のインターバルを経た4月12～14日、九州佐賀県を舞台とするツール・ド・九州in唐津として開催された。今季、ターマックラリー2戦目となる今回は、44台がエントリー、2日間、全開アタックを続けた。

トータル335.82kmの中で用意されたSSは14本で総距離は74.91km。名物ステージ「SANPOU」は9.8kmをLEG1で3回、LEG2では逆走で2回走る。この5本でSS総距離の

約7割を占める最大の勝負所となった。

またLEG1で「UCHIUURA」(4.27km)、LEG2で「HAKOBA」(5.00km)というNEWステージも用意された。従来、開催されてきたエリアからは国道を挟んで反対側に位置するステージだが、道の性格が微妙に異なり、各クルーとも、攻略に頭を悩ませていた。そして唐津競艇場でのギャラリーステージが復活したのも話題のひとつ。400mという短い距離ながらLEG2の各セクションのオープニングステージとして2回開催された。

昨年、悪天候という混乱を突いた奴田原文雄／佐藤忠宜組が、勝田範彦WRXの13連勝を遂に阻止したJN1クラス。今回も圧倒的な速さを見せたのは奴田原組だった。奴田原組は、最初のSANPOUとなったSS1で2番手の新井敏弘／田中直哉組に5.4秒差をつけるベストを叩き出すと、この日、3回目のSANPOUとなったSS7でも勝田／石田裕一組を5.3秒引き離し、終わってみれば8本のSSすべてでベストをマークする圧倒的な速さを見せて、勝田組に23秒という大量リードで折り返した。

奴田原組はLEG2に入っても崩れることはなく、好タイムを連発。雨が降り出した最終SSの「SANPOU REVERSE」もベストタイムで上がり、LEG2総合でもDAYベストを奪うというフルマークの速さを見せて、今季初優勝を飾った。最終SSでプッシュした新井組が勝田組を逆転して2位に入った。

「新城でも感じてただけど、今年、サスペンションを見直したのがいい方向に行ってる。バランスが良くなったというか、あまりハンドル切り込まなくても曲がっていくクルマになったんです。今回はそのクルマとタイヤが凄くマ

JN1 / 1.突然の雨に見舞われた最終SSでもベストをマーク。コンディションに左右されない速さを見せた奴田原／佐藤組。2.新井敏弘／田中直哉組は最終SSでセカンドベストを奪って、貴重な2位を獲得した。3.得意の唐津で新城からの連勝を狙った勝田範彦／石田裕一組だが、3位にとどまった。





JN2&JN3クラス / 4.JN2は唐津に精通する眞貝知志／安藤裕一組が隙を見せない走りで快勝。5.眞貝組にコマ秒差に迫るタイムもマークした石井宏尚／明治慎太郎組レクサスは3位をゲット。6.7.最終SSまで息詰まる攻防となったJN3クラスは山本悠太／山本磨美組がLEG2で逆転を果たして2勝目をマーク。8.JN3山口清司／竹原静香組は僅差の2位にとどまった。9.JN2上原淳／漆戸あゆみ組は苦手とする舗装で貴重な2位を獲得。第4戦からのグラベル連戦に弾みをつけた。10.JN3長崎雅志／秋田典昭組は3位を守り抜いてゴール。



JN4&JN5&JN6クラス / 11.JN5クラスは天野智之／井上裕紀子組がLEG1のマージンを守り切って開幕3連勝。12.ヴィッツCVTが1-2を飾ったJN6クラスは大倉聡／豊田耕司組が今回も快勝。13.14.JN4は高橋悟志／加藤昭文組が、LEG2でエンジン不調に見舞われるも、LEG1で築いたマージンが効いて新城に続く勝利。15.21.スイフトをシェイクダウンさせた地元のJN4黒原康仁／美野友紀組は最終SSをベストで上がって2位を獲得。16.19.SS13でベストを奪った大型女子ルーキー、板倉麻美／蔭山恵組はJN6で2位を獲得して速さをアピールした。17.LEG2でベスト4本獲得のJN5小川剛／藤田めぐみ組は2位に入った。18.JN4関根正人／草加浩平組はLEG2でDAYベストを奪うも3位に終わった。20.地元福岡の岡田孝一／廣田幸子組はJN5クラス3位でラリーを終えた。22.今季はノートe-POWERで参戦の伊藤隆晃／大高徹也組はLEG2で2位で上がってクラス3位を獲得。23.月に高校を卒業したばかりの大竹直生選手がJN3クラスに参戦。全日本デビュー戦を5位で完走した。



「つちしたのが勝因ですね」と奴田原選手。2戦続けて舗装で速さを見せたことに、十分な手応えを感じた様子だ。

一方、JN3クラスは今回も山本悠太組vs山口清司組によるマッチレースとなった。SS1で飛び出したのは山口／竹原静香組で、山本／山本磨美組を8.3秒差に下してラリーをリードする。しかし山本組もSS3から反撃を開始、後半セクションでもジワリジワリと追い詰め、山

口組に2.3秒差まで追い付いてラリーを折り返した。

LEG2に入っても両者は各ステージで2秒と離れない接戦を展開するが、最初のSANPOUの逆走となったSS11で山口組を1.4秒凌いだ山本組が遂に逆転に成功。最終のSS13で5.8秒引き離してダメを押した山本組が最後は8.7秒差で逃げ切り、新城から2連勝を飾った。

「最後は雨も降ってカウンター当てまくりででした(笑)。1秒を争う中で、今日の1本目を、0.1秒差でしたけど、ちゃんと取れたことが大きかったかなと思います。最後まで昨日のペースを保ち続けることができました」と山本選手。全日本ラリーでは初となる連勝を遂げたことに笑顔を見せていた。

